

みんながみんなに 当たり前前の学校



あの人と学校の

定形外
便り



「この町を選んだ人
と選んだ学校」

文：川根高校魅力化コーディネーター
(地域おこし協力隊)

伊神花織

川根高校を中心に、学校での取り組みを魅力化コーディネーターの立場から、地域の方などへのインタビューを交えて紹介します。

今回は学校の魅力から川根本町に移住されたご家族を紹介します。他の町を知っているからこそ感じる、学校や町の魅力がたくさんありました。

違うという魅力 それはこの町での当たり前



1～6年生みんなと一緒に遊べるのが嬉しいと話す、小林蒼空くん

「見学できないかと問い合わせをしたら、見学だけでなく授業に参加しませんか？と言われ、その柔軟な対応に驚きました」と語る宏江さん。町や学校の対応も、印象的だったようです。

子どもたちも先生も町も、出会った全てに・みんなに、今までと違う何かがあると感じられたこと、それがこの町を選んだ理由なのではないでしょうか。

「みんながすぐに受け入れてくれた。算数の授業に参加したら、みんなすごく自由！今までの学校と違うと思う」と中川根第一小学校の第一印象を、はにかみながらも笑顔で話してくれました。

小林蒼空くん（5年生）とお母様の宏江さんにお話を伺いました。

小林さんご家族は、学校見学で川根本町に移住されることを決められたそうです。

特別なことでなく みんなという思いで創る



蒼空くんなど、5年生7名みんなで！

まず驚いたことが、パラダイスという、学校では聞き慣れない斬新なフレーズが学校に浸透していることでした。このフレーズから学年での合言葉を考え、児童も先生方もパラダイスな学校や地域を創ろうと取り組んでいます。（8ページもご覧ください）

もう一つすてきだと思ったことが、「みんなで授業を創ろう」という考え方です。授業を見学すると、先生の様々な投げかけに、児童らが思い思いの発言、質問を重ねていました。発言をちゅうちょさせたりする雰囲気はなく、まさに子どもたちと先生が一緒に授業を創っていました。少人数だからではなく、みんなの学校をみんなで創るという思いが、中川根第一小学校の素晴らしさだと思います。

伊神花織（いがみ かおり）



愛知県出身。広告代理店の営業を経て、教育コーディネーターとして大阪・東京で中中学校のキャリア教育に従事。高校教育に関わりたいと思い、魅力化コーディネーターを志望して本町へ。本町にはバイクツーリングで訪れており、景色の美しさや町の方々の優しさに触れる機会が多くあり、以前から好きな場所でした！

川根高校のフェイス ブックページ

伊神さんが更新
川高生の様子から
授業での豆知識まで発信

